様式１号
（総括票）

事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

１　事業者等の概要

氏名又は名称	岡谷酸素株式会社			
代表者名	氏名	野口　行敏	役職名	代表取締役
主たる事務所の所在地	長野県岡谷市幸町６番６号			
主たる事業の分類	大分類	Ｉ　卸売・小売業		
	中分類	６０　その他の小売業		
主たる事業の概要	高圧ガスの製造・販売　、　高圧ガス周辺設備機器の販売　、　管工事業			
制度に該当する要件	☐	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者		
	☐	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者		
	☑	条例第12条第1項第2号に該当する事業者		
	☐	上記以外（任意提出）の事業者		

原油換算エネルギー使用量	334	kl	その他ガス排出量合計	0	t-CO_2	自動車の台数	292	台

２　計画期間及び報告対象年度

計画期間	26	年度	～	28	年度	報告対象年度	28	年度

３　計画書（報告書）の公表方法等

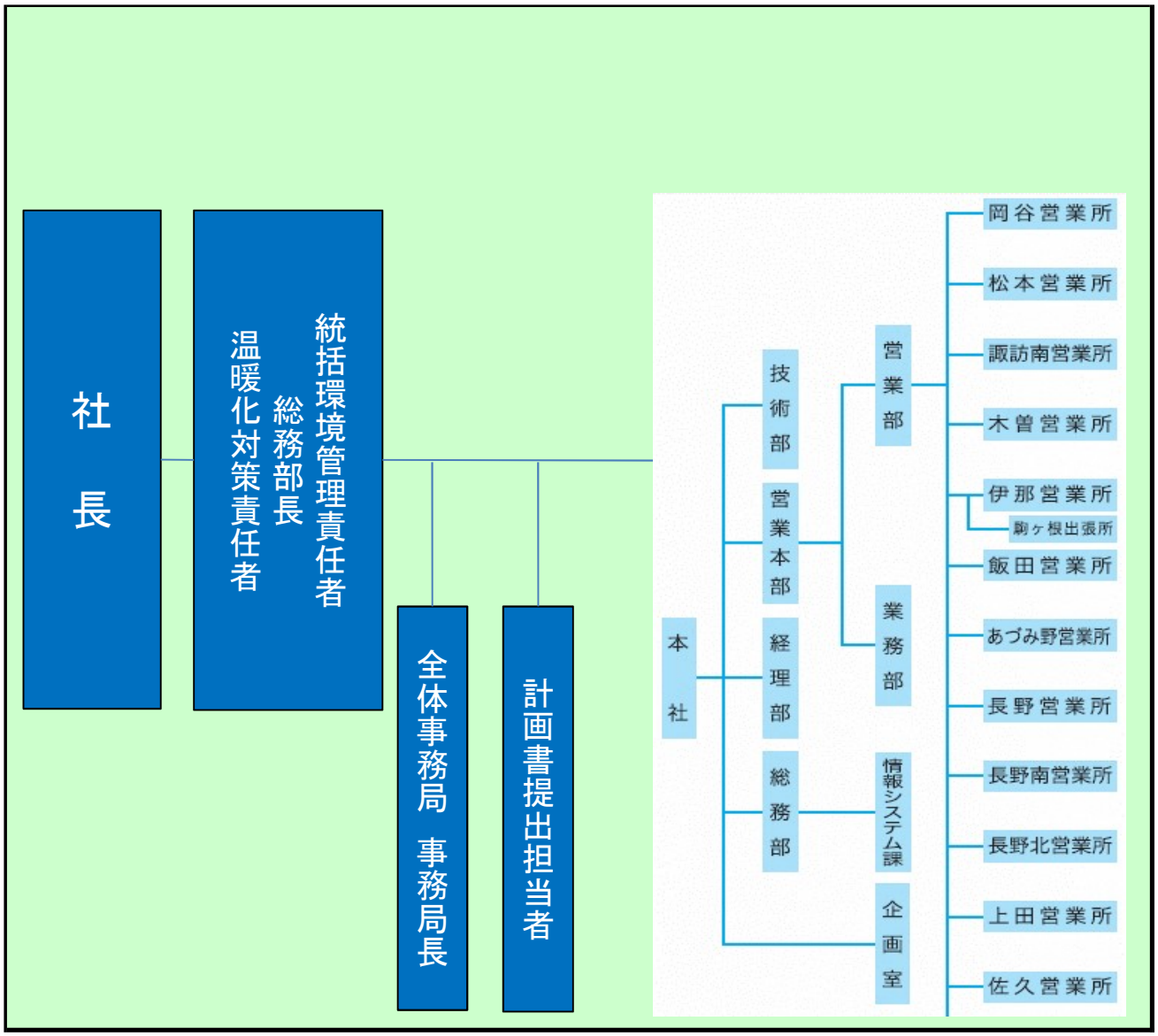
☑	ホームページ	ホームページに掲載予定　http://www.okayasanso.co.jp/
☐	印刷物の閲覧	
☐	その他	

様式１号
（総括票）

４　温室効果ガス排出抑制のための基本方針

１．環境に関連する法規制及び当社が認めるその他の要求事項を遵守しマネジメントシステムを継続的に改善し、汚染の予防に努めます。
２．資源の有効利用とリサイクル及び廃棄物の発生抑制に努めます。
３．環境に関する意識向上のための教育と、環境活動の啓蒙に取り組みます。

５　温室効果ガス排出抑制のための組織体制



様式１号
（総括票）

６の１　エネルギー起源二酸化炭素の排出抑制に係る目標等の状況

基　準　年　度	基準排出量	483	t-CO_2			単位		
25　年度	調整後排出量		t-CO_2	基準原単位		t-CO_2/		
目　標　年　度	目標排出量		t-CO_2	目標原単位		t-CO_2/		寄与度の合計から求めた目標削減率※
年度	目標削減率		%	目標削減率		%		
目標設定に関する説明								※事業の内容により単一の原単位を設定できない者のみ記載する（以下同じ）。
第一年度	排出量		t-CO_2			単位		
	調整後排出量		t-CO_2	原単位		t-CO_2/		寄与度の合計から求めた目標削減率※
26　年度	削減率		%	削減率		%		
排出量等の増減理由								
第二年度	排出量		t-CO_2			単位		
	調整後排出量		t-CO_2	原単位		t-CO_2/		寄与度の合計から求めた目標削減率※
27　年度	削減率		%	削減率		%		
排出量等の増減理由								
第三年度	排出量		t-CO_2			単位		
	調整後排出量		t-CO_2	原単位		t-CO_2/		寄与度の合計から求めた目標削減率※
28　年度	削減率		%	削減率		%		
目標の達成状況及び排出量の増減理由								

様式１号
（総括票）

６の２　エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出抑制に係る目標等の状況

基　準　年　度	基準排出量	0	t-CO_2			単位		
25　年度	調整後排出量		t-CO_2	基準原単位		t-CO_2/		
目　標　年　度	目標排出量		t-CO_2	目標原単位		t-CO_2/		寄与度の合計から求めた目標削減率※
年度	目標削減率		%	目標削減率		%		
目標設定に関する説明								※事業の内容により単一の原単位を設定できない者のみ記載する（以下同じ）。
第一年度	排出量		t-CO_2			単位		
	調整後排出量		t-CO_2	原単位		t-CO_2/		寄与度の合計から求めた目標削減率※
26　年度	削減率		%	削減率		%		
排出量等の増減理由								
第二年度	排出量		t-CO_2			単位		
	調整後排出量		t-CO_2	原単位		t-CO_2/		寄与度の合計から求めた目標削減率※
27　年度	削減率		%	削減率		%		
排出量等の増減理由								
第三年度	排出量		t-CO_2			単位		
	調整後排出量		t-CO_2	原単位		t-CO_2/		寄与度の合計から求めた目標削減率※
28　年度	削減率		%	削減率		%		
目標の達成状況及び排出量の増減理由								

様式１号
（総括票）

６の３　自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出抑制に係る目標等の状況

基準年度 25 年度	基準排出量	1423	t-CO_2			
目標年度 28 年度	目標排出量	1423	t-CO_2	削減率	0	%
目標設定に関する説明	エコドライブの啓蒙、ＬＰＧ車の改造など、取り組みとしてはやり尽くした感があり、且つ今後も台数増が見込まれるため、まずは現状維持に目標をおきたい。					
第一年度 26 年度	排出量	1445	t-CO_2	削減率	-1.55	%
排出量等の増減理由	車両台数の増加によるもの					
第二年度 27 年度	排出量	2025	t-CO_2	削減率	-42.31	%
排出量等の増減理由	車両台数の増加によるもの					
第三年度 28 年度	排出量	1452	t-CO_2	削減率	-2.04	%
目標の達成状況及び排出量の増減理由	エコドライブによるもの					

７　重点対策の実施状況

段階	連番	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
Ⅰ、Ⅱ	1	燃料使用量等の定期的な把握	実施中	第一年度	実施中	実施中	実施中	
	2	エコドライブの励行	実施中	第一年度	実施中	実施中	実施中	
Ⅲ、Ⅳ	3	次世代自動車の導入計画	未実施	実施しない	実施中	実施中	実施中	

様式１号
（総括票）

８　排出抑制目標達成のための具体的な措置

番号	区分	対策内容	計画		実績	
			実施予定年度	削減見込量（t-CO_2）	実施年度	推計削減量（t-CO_2）
1	自動車	低公害車（ＬＰＧ車）の導入	H27	0	H27	0
2	自動車	エコ安全ドライブの実践	H27~28	0	H27~28	0
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						

９　自然エネルギー源利用設備等の導入状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度

１０　クレジット等に関する取組状況

クレジットの種類	単位	基準年度	計画期間	第一年度	第二年度	第三年度
グリーンエネルギー証書（電気）	tCO_2					
グリーンエネルギー証書（熱）	tCO_2					
Ｊ－クレジット制度により創出されたクレジット	tCO_2					
県が認証したクレジット	tCO_2					
電気の利用に伴うもの	tCO_2	133				
低炭素電力の利用	tCO_2					

様式１号
（総括票）

１１　県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出状況

（所、t-CO_2）

工場等の規模（原油換算エネルギー使用量）	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000kl以上								
1,500kl以上3,000kl未満								
1,500kl未満	13	483	13	259	13	438	13	701
合計	13	483	13	259	13	438	13	701

１２　県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出状況

（t-CO_2）

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO_2	0	0	0	0
CH_4	0	0	0	0
N_2O	0	0	0	0
HFC	0	0	0	0
PFC	0	0	0	0
SF_6	0	0	0	0
合計	0	0	0	0

１３　次世代車使用台数及び導入計画

（台）

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車				
電気自動車				
燃料電池自動車				
クリーンディーゼル自動車				
その他	2	2	2	2
合計	2	2	2	2
自動車総数	269	279	294	292
次世代車導入割合	0.7	0.7	0.7	0.7

様式１号
（総括票）

１４　中小企業支援

区分	内容
中小企業への省エネ診断	特になし
その他	特になし

１５　交通対策

区分	実施内容
ノーマイカー通勤	マイカー通勤率　９３．３％
公共交通機関の利用促進	特になし
来客者の交通対策	特になし
物流の合理化	特になし

１６　環境マネジメントシステム導入状況

番号	名称	導入年
1		
2		
3		

１７　その他の地球温暖化を防止する対策の実施状況

基準年度実績	低公害車（ＬＰＧ車）の導入 エコ安全ドライブの実践
第一年度実績	低公害車（ＬＰＧ車）の導入 エコ安全ドライブの実践
第二年度実績	エコ安全ドライブの実践
第三年度実績	エコ安全ドライブの実践

１８　自由記載欄

区分	内容	削減量(tCO_2)
基準年度以前の取組み	低公害車（ＬＰＧ車）の導入 エコ安全ドライブの実践	
その他		